

平成 27 年（2015 年）6 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 27 年 6 月 22 日（月）

割当時間（答弁を除く）	自民党	20 分
	社民党	15 分
	ひやみかち那覇 ・無所属の会	15 分
	なは民主	10 分
	社大党	10 分
	無所属の会	10 分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	栗 國 彰 (自 民 党)	市長の政治姿勢について	(1) 訪米の際、米国政府関係機関のどなたに会ってどのような成果が得られたか伺う (2) 那覇軍港の浦添移設について、どのような考えか見解を伺う (3) 辺野古への移設に反対なら、普天間の代替施設の解決策について市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	奥間 亮 (自民党)	那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業(龍柱建設事業)について	<p>(1) 中国の業者に製作させた龍柱の石に生じているヒビらしきものの調査状況と今後の対応について伺う</p> <p>(2) 龍柱建設事業は、那覇市の不適切な執行によって、当初の市民負担が4倍以上に膨れ上がり、余計な費用が生じ、予算執行について以前から指摘されていたが、とうとう会計検査院から実地検査を受けるという事態になった 地元紙でも「龍柱建設事業に、会計検査院のメスが入った」等と報じられ、那覇市の幹部からは「きちんと手続きを踏むべきだった」と落ち度を認めたと伝えられているが、一連の報道やこれまでの経緯も含めて、今回の会計検査の概要と影響、結果次第で事業がどうなるのか伺う</p> <p>(3) 那覇市が適正に予算を執行していれば、当初約5千万円で済むはずだった市民の負担は、現時点で約2億3,000万円に膨れ上がることが確定し、差し引くと約1億7,000万円も余計な出費が生じている さらに、会計検査院から何らかの指摘を受け、交付金を返還することになれば、市民の負担はさらに増え、合計の市民負担は3億3,000万円と膨れ上がり、市民生活を圧迫させることになるが、那覇市が反省すべき点を伺う</p> <p>(4) 先般の議会において、14名の議員が質疑しても、一言も言葉を発しない。そして私たちは再三にわたって予算決算常任委員会へ市長に出席を求めたが、結局一度も出席されなかった。つまり、議会で市民の皆様の大事な税金を、1億円以上追加し、市民の皆さまに余計な負担をかけるという重大な提案をしておきながら、議会で一度も答弁や陳謝をしなかった これで市長は説明責任を十分に果たしていると考えているのか、市長に伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(5) 先般の議会において、副市長は「このような結果に至ったことについては、誠に残念であり大変遺憾に思っているところであります。多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけした点については、責任も感じているところであります」と答弁し、4月の会見で、城間市長は「市民に対して申し訳なく思っています」と陳謝したと報じられているが、城間市長は、市民に約1億7,000万円以上の余計な負担をかけた責任について、どのように考えているか、市長に伺う</p> <p>(6) 先日、地元紙が報じていたように、これまで龍柱建設の中止を求める署名が2万7,000筆以上提出されている</p> <p>先月開催された議会報告会でも、「3億3,000万円の龍柱をつくらないで、他のことに使ってほしい」等の意見や、反対する旨の意見が多く寄せられた</p> <p>まさに市民のみなさまの純粋な思いであり、私も、もし3億3,000万円もの潤沢な予算の余裕があるならば、私は子育てや教育、医療、介護福祉等に使うべきだと考える。城間市長は「他のことに使ってほしい」という市民の意見について、どのように考えているのか、伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	宮平のり子 (社民党)	<p>1 市長の知事訪米同行などについて</p> <p>2 認定こども園について</p>	<p>5月29日から6月5日まで、翁長雄志県知事は辺野古新基地建設に反対を伝えるために訪米している。同行され、ワシントンを訪れた城間市長に成果と今後の決意を伺う</p> <p>(1) 知事は始まりの一步として、今後も訪米を繰り返し、米国へ訴える意気込みを見せている。城間市長の今回の訪米の成果、今後の取り組みへの決意を伺う</p> <p>(2) 辺野古新基地建設の承認撤回、承認取消について市長の見解を伺う</p> <p>沖縄県においては、公立小学校すべてに、幼稚園が併設され、学校教育の中で幼児教育として運営されてきた。他府県にはない先進的な幼児教育のあり方であった。しかしながら、今、この形は崩れ去ろうとしている。幼稚園現場では、公教育の放棄ではないかとそれぞれの職員が大きな不安と懸念を示している</p> <p>(1) 公私連携認定こども園のメリットは何か</p> <p>(2) 公立型認定こども園は、校区内であれば、保護者の就労に関係なく全員が入学できるか</p> <p>(3) 公立幼稚園現場からは、認定こども園の特徴（保育所と幼稚園の良い所をひとつにした）と思われる3、4歳児の受け入れ、給食の導入を訴えてきたが、認識と見解を伺う</p> <p>(4) 園長の校長兼務を廃止、現在の主任職を園長とすることについて、新園長は管理職となるのか</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 現業職のあり方について</p> <p>4 L G B T 支援宣言について</p>	<p>環境部における現業部門は、地域清掃・アシスト収集・指導啓発・災害緊急時対応については、直営で行っていくべきか検討し、平成27年度に結論を出す予定とあるが、その検討結果について伺う</p> <p>性的少数者 L G B T の人たちがより生きやすい社会をと L G B T 支援宣言を自治体として行うことは意義が大きい</p> <p>(1) L G B T 支援宣言の概要について伺う</p> <p>(2) 学校教育におけるプログラムについて</p> <p>(3) 行政窓口などの性別欄について</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	坂井浩二 (ひやみかち那覇・無所属の会)	1 子ども行政について	<p>子ども達の健全育成及び安心・安全な環境づくりについて以下質問する</p> <p>(1) 例年より早い梅雨明けとなり、本県もいよいよ夏本番へと向かっていく 以前から本会議等でも取り上げてきた本市内幼稚園及び各小中学校へのクーラー設置の進捗状況はそれぞれどうなっているか伺う</p> <p>(2) 子どものむし歯予防にも有効とされる「フッ化物洗口」の現状について伺う</p> <p>① 厚生労働省や県が推奨している「フッ化物洗口」を実施した場合、どのような効果が考えられるか</p> <p>② 県内の保育園から中学校までの「フッ化物洗口」実施園及び校数を伺う また本市内における実施園・校数を伺う</p> <p>③ 久米島町や宮古島市など、「フッ化物洗口」を学校で取り入れている自治体においては子どものむし歯が10分の1に激減したとの報告がなされている 本市の認識と今後の方向性及び取り組みについて伺う</p> <p>(3) 「放課後子ども教室」について以下伺う</p> <p>① 「放課後子ども教室」の意義と役割について伺う</p> <p>② 現在実施している「放課後子ども教室」の開催数及び取り組みの効果を伺う</p> <p>(4) 本市は「認定こども園」設置に向けていよいよ本格的に動き出す 設置に向けての制度変更におけるメリット及び今後の課題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 一括交付金のあり方について	<p>(1) 沖縄振興特別推進交付金、いわゆる一括交付金の本市事業における平成26年度の繰越事業の総数を伺う</p> <p>(2) 現状を踏まえての市長の認識及び今後の対応について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成 27 年 6 月 22 日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	瀬長清 (ひやみかち那覇・無所属の会)	教育行政について	<p>(1) 小学校の耐震化対策について 文部科学省は今年度全国の公立小中学校等のうち、震度6強の地震に備えて耐震化された建物の割合が95.6%になったと発表した。一方、沖縄県の耐震率は85.7%と低く、大規模地震による倒壊から児童・生徒を守り、又、地域の避難場所という面からも、小中学校施設の耐震化は急務な課題である。そこで、那覇市の取り組みについて所見を伺う</p> <p>① 那覇市の小中学校施設の耐震化の現状と今後の計画について伺う</p> <p>② 県の21世紀ビジョンで示された平成33年度耐震化率100%について、本市の見通しを伺う</p> <p>(2) 給食センターにおけるクーラーの設置状況について 平成24年9月定例会で給食センターへのクーラーの整備について質問をしたが、その後の那覇市の取り組みについて所見を求める 給食センターへのクーラー整備状況は、どのようになっているか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	清水 磨 男 (なは民主)	<p>1 公契約条例 について</p> <p>2 選挙権年齢 引き下げにつ いて</p> <p>3 L G B Tに ついて</p> <p>4 新市民会館 について</p> <p>5 カーフリー について</p>	<p>進捗状況を伺う</p> <p>シティズンシップ教育の取り組みを伺う</p> <p>支援宣言と関連する取り組みについて伺う</p> <p>これまでの那覇市の考え方との変更点及び把握する課題を伺う</p> <p>市内の駐輪場整備について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	花城正樹 (なは民主)	平和行政（来年の選挙）について	<p>新聞報道によると、2010年に普天間基地の県外移設を訴えて当選した自民党の島尻あい子議員が再出馬の意向（来年の参院選）を示した。城間市長は、基地行政の観点で来年の選挙にどのように関わるのか見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	上原 快佐 (社大党)	<p>1 那覇軍港の返還について</p> <p>2 那覇空港滑走路増設事業について</p>	<p>(1) 那覇軍港返還の経緯と現状について伺う</p> <p>(2) 浦添移設と返還について本市の見解を伺う</p> <p>(3) 現行計画案と浦添市案についての本市の見解を伺う</p> <p>(1) 環境保全措置の状況について伺う</p> <p>(2) 県外石材の使用について伺う</p> <p>(3) 県議会における「公有水面埋立事業における埋立用材に係る外来生物の侵入防止に関する条例」(案)提出を受けての本市の見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 平成27年6月22日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	中村圭介 (無所属の会)	<p>1 中心市街地における地域コミュニティの将来像について</p> <p>2 新文化芸術発信拠点施設について</p>	<p>久茂地地域からコミュニティの拠点となる施設が立て続けに失われてきたが、久茂地地域のコミュニティの将来像について市長はどのように考えているのか伺う</p> <p>(1) 昨年度行われた那覇市新文化芸術発信拠点施設周辺環境整備基礎調査について</p> <p>調査を請け負った事業者からの提案には、歩行者の密度の問題点から導き出される課題が「歩道幅員の拡幅による歩行密度の低下」となっているのに対し、自動車の渋滞の問題点から導き出される課題には車道の拡幅は上がっていないが、課題とは考えていないのか当局の見解を伺う</p> <p>(2) 新文化芸術発信拠点施設周辺環境整備計画策定業務の内容について改めて伺う</p> <p>(3) 新文化芸術発信拠点施設の今後の整備スケジュールについて</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>